

持続的取組を進めるための 体制・役割分担

持続的取組を進めるための体制・役割分担について

〔ルート体制〕

- 自治体の果たす役割は大きく、道路や河川の管理者としての役割だけでなく、商工観光を含めた総合的な取組支援にわたる
(特に、首長が大きな推進力をもつ)
- 民間企業との連携、もしくは民間企業が主導して取組を実施することで、多様なサービスを提供
(地域の企業が関わる事例と、全道・全国的な企業(鉄道や運輸など)が関わる事例の両方がみられる)
- 地域住民/サイクリストに地域のガイドやイベント支援等に関わっていただいている



・民間企業・住民・自治体が連携して取組を進めるべき

〔全道連携〕

- 他のモデルルートの取組について情報提供を望む声
- 全道的な企業への働きかけで実現した取組
- ルートにより、観光等に関連する事業(助成金・補助金)を有効に活用



・商工・観光に関する企業等との連携や、事業制度等の情報提供等の支援を行うべき
・各ルート間の取組内容を共有するべき

〔持続性〕

- 利用されていること、地域で消費されていることが、取組の継続につながるとの声
- 利用者数、消費額等の利用実態を把握することで、より良い方策を検討できるとの声



・持続的な取組を進めるために、継続的に利用実態調査を行うべき